

## 農業・農村に関する県民アンケート

県は、平成21年3月に『ふくい農業・農村再生計画』を策定し、各施策を進めてまいりました。しかし、農業者の減少・高齢化やTPPなど、現在、本県農業を取り巻く環境は非常に厳しい状況にあります。

そこで、県では、これからも県民の身近に農業があり、農で生き、農に支えられる豊かな暮らしを続けていくために、皆様のご意見をお聞きし、今後の施策に反映させていただきたいと考えております。

なにとぞ、主旨をご理解いただき、以下のアンケートにご回答くださいますよう、お願い申し上げます。

問 あなたのことについてお伺いします（該当するものに○をつけてください）

- A 年齢            20代以下 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上
- B 性別            男性 女性
- C 住居            1 福井市市街地  
                    2 嶺北・市街地（福井市を除く）  
                    3 嶺北・平野農村部（福井市を含む）  
                    4 嶺北・中山間農村部（福井市を含む）  
                    5 嶺南・市街地  
                    6 嶺南・平野農村部  
                    7 嶺南・中山間農村部
- D 職業            1 農業専業  
                    2 農業を主として、会社等に勤務  
                    3 会社等勤務を主として、農業に従事  
                    4 会社等勤務  
                    5 自営業（農業を除く）  
                    6 学生  
                    7 主婦  
                    8 無職  
                    9 その他
- E 家族構成        1 3世代以上の同居（同一敷地内の別の家も含む）  
                    2 核家族又は単身世帯だが、親又は子の世帯が頻繁に行き通える距離に住んでいる（同一又は隣接市町村のイメージ）  
                    3 核家族又は単身世帯だが、親又は子の世帯が週末には行き通える距離に住んでいる（嶺北と嶺南、福井と奥越などのイメージ）  
                    4 核家族又は単身世帯で、親又は子の世帯は東京、大阪、名古屋などに住んでいる

- F 農地の所有
- 1 所有している（賃借している場合も含む）
  - 2 自分では所有していないが、親が所有している
  - 3 自分も親も所有していない

G Fで1を選択した方に伺います。あなたのお宅と米づくりのかかわりを教えてください。

- 1 自分の家で基幹的な作業をすべて行っている
- 2 専業農家や集落営農組織に一部の作業を委託している
- 3 専業農家や集落営農組織にすべての作業を委託している

・・・それでは、以下の質問に対して当てはまるものに、○印または文章でお答えください・・・

問1 あなたのお宅では、普段どの銘柄のお米を食べることが多いですか。（○は1つだけ）

- 1 福井県産コシヒカリ
- 2 福井県産あきさかり
- 3 福井県産ハナエチゼン
- 4 福井県産イクヒカリ
- 5 県外産の米（具体的な銘柄を記入ください：                                 )
- 6 銘柄は分からない・こだわっていない

問2 あなたのお宅では、普段どこでお米を入手することが多いですか。（○は1つだけ）

- 1 スーパーマーケット
- 2 ドラッグストア、ホームセンター等
- 3 農協
- 4 米屋
- 5 農産物直売所
- 6 生産者から直接購入
- 7 インターネットショップ
- 8 親族・知人などから無償で入手
- 9 自宅で作っている
- 10 その他

問3 あなたが米を入手する際に、選ぶ基準を次の中から3つまで選んでください。

- 1 福井県産であること
- 2 福井県内の特定の地域産であること
- 3 銘柄（コシヒカリ、ハナエチゼンなど）
- 4 価格が安いこと
- 5 おいしいこと
- 6 有機農法、減農薬など、こだわりの農法で作られていること
- 7 自分・家族・知人が作っていること
- 8 特定の生産者が作っていること
- 9 こだわっていない

問4 福井県農業試験場では、平成29年度に向け、コシヒカリを超える品質を持つ新しい水稻品種（ポストこしひかり）の開発を進めています。あなたは、このことを知っていましたか。（○は1つだけ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことがある
- 3 知らない

問5 新しい水稻品種（ポストこしひかり）について望むことは何ですか。（○はいくつでも）

- 1 もっとおいしいコメ
- 2 もっと高く売れるコメ
- 3 コシヒカリより安いコメ
- 4 もっと作りやすいコメ
- 5 もっと化学肥料や農薬が少なくて済むコメ
- 6 全国に誇れるようなコメ
- 7 今のコシヒカリで十分
- 8 特にない
- 9 その他（ ）

問6 福井県の米づくりは、米価下落や農業者の高齢化などの問題を抱えています。このため、県では、個々の農家で米づくりを行うのではなく、専業農家や集落の生産組合が農地を集めて、大規模で効率的な米づくりを行う「農地集積」を進めています。この施策に関し、あなたの考えに近いものを選んでください。（○は1つだけ）

- 1 効率的な米づくりを行うため、農地集積をもっと進めるべきである
- 2 福井県には兼業農家が多く、米づくりにまで手が回らないので、農地集積をもっと進めるべきである
- 3 農地集積は必要だが、米づくりが人任せになるなど農地集積にはデメリットも大きいと思う
- 4 自分の田んぼは自分で耕すべきだと思う
- 5 効率的な米づくりよりも、化学肥料や農薬をできるだけ減らして栽培する米づくりなどを目指すべきである
- 6 効率化を進めても外国には敵わないので、農地集積は疑問である
- 7 分からない

問7 県では、農薬や化学肥料の量を減らして栽培した「エコ農産物」の生産を推進しています。このマークの付いた商品を購入したことがありますか（○はそれぞれ1つだけ）

A 有機農産物

- 1 マークを知っており、マークを購入の参考としている
- 2 マークは知っているが、特に購入の参考とはしていない
- 3 マークは知らなかったが、今後は購入の参考としたい
- 4 マークは知らなかったが、特に購入の参考とする予定はない



<内容>

- ・農 薬：不使用
- ・化学肥料：不使用

## B 特別栽培農産物

- 1 マークを知っており、マークを購入の参考としている
- 2 マークは知っているが、特に購入の参考とはしていない
- 3 マークは知らなかったが、今後は購入の参考としたい
- 4 マークは知らなかったが、特に購入の参考とする予定はない



<内容>

- ・農薬：5割以上低減
- ・化学肥料：5割以上低減

## C エコファーマー農産物

- 1 マークを知っており、マークを購入の参考としている
- 2 マークは知っているが、特に購入の参考とはしていない
- 3 マークは知らなかったが、今後は購入の参考としたい
- 4 マークは知らなかったが、特に購入の参考とする予定はない



<内容>

- ・農薬：2割以上低減
- ・化学肥料：2割以上低減

問8 県では、本県産の農林水産物を主原料として県内で製造された加工食品または地域の伝統技術により県内で製造された加工食品を「厳選ふくいのみ」として認証して、「Eマーク」を付けています。このマークの付いた商品を購入したことがありますか。  
(○は1つだけ)

- 1 マークを知っており、Eマークを購入の参考としている
- 2 マークは知っているが、特に購入の参考とはしていない
- 3 マークは知らなかったが、今後は購入の参考としたい
- 4 マークは知らなかったが、特に購入の参考とする予定はない



Eマーク

問9 福井県の農業は米づくりが中心で、冬の降雪の影響などにより、野菜・果物の生産はあまり盛んではありません。野菜・果物の県内生産を振興するとした場合、あなたが購入してみたいと思う品目は次のうち、どれですか。(○はいくつでも)

- 1 ホウレンソウ、キャベツ、ネギなど日常的に購入する野菜
- 2 スイカ、スイートコーン、サトイモなど、季節を感じられる特産野菜
- 3 河内カブ(福井市)、新保ナス(鯖江市)など、特定の地域でしか生産できない伝統野菜
- 4 ウメ(三方五湖周辺)、ナシ(あわら市)、カキ(南越前町)などの特産の果物
- 5 モモ、ブドウ、リンゴなど、これまで県内ではあまり生産されていない果物
- 6 観光果樹園などでもぎ取りを楽しめる果物
- 7 県内産にこだわる必要はないと思う(理由: )

問 10 野菜・果物と同じく、福井県では畜産も盛んではありません。県内の畜産振興について、あなたの考えに近いものを選んでください。(○はいくつでも)

- 1 米や稲わらなど県内の飼料で育てた安全・安心な畜産物を増やすべきである
- 2 高級和牛や地鶏など、福井県のブランドとなる畜産物を増やすべきである
- 3 価格の安い県産畜産物を供給すべきである
- 4 県産の肉が食べられるレストランなどを増やすべきである
- 5 県産牛乳・乳製品や卵の販売を増やすべきである
- 6 県産牛乳・乳製品や卵を使ったお菓子を増やすべきである
- 7 家畜とふれあえる機会を増やすべきである
- 8 県内産にこだわる必要はないと思う(理由: )

問 11 福井県内では、一般の農家に宿泊する「農家民宿」や田植えや農産物の収穫など、農作業や農村の暮らしを体験できる「グリーンツーリズム」が行われています。このような取り組みについて、下記から選んでください。(○は1つだけ)

- 1 参加したことがある
- 2 参加したことはないが、体験してみたい
- 3 実家や自宅が農家なので、体験する必要が無い
- 4 実家や自宅は農家ではないが、特に体験したいとは思わない

問 12 福井県の農村部では、農家だけではなく、農家でない住民も加わって、農業用水の清掃や畦畔の草刈りなどが、集落の共同作業として一般的に行われています。このような仕組みについてどのように思いますか。(○は1つだけ)

- 1 集落と農地を守るためには、当然の負担である
- 2 集落と農地を守るためにはやむを得ないが、負担も大きい
- 3 農家だけが負担するべきであって、農家でない住民も負担するのはおかしい
- 4 わからない

問 13 農業・農村には、食料を生産する以外にもいろいろな役割がありますが、あなたは、どのような役割が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 水資源を貯え、土砂崩れや洪水などの災害を防止すること
- 2 都市生活者等に保養・休養などの場を提供すること
- 3 農業体験や自然とのふれあいなど、学習の場を提供すること
- 4 自然の生態や環境を保全すること
- 5 美しい水田などの農村景観を保全すること
- 6 伝統文化・行事を保存し継承すること
- 7 その他( )
- 8 わからない
- 9 食料の生産以外には考えられない

- 問 14 あなたは、問 13 で例示したような農業・農村のいろいろな役割（災害の防止、景観の保全など）を維持していくことについて、どのように思いますか。（○は1つだけ）
- 1 農村以外に住む人も積極的に協力していくことが大切である
  - 2 農村に住む人が主体となりながら、農村以外に住む人もできる範囲で支援しながら維持していくべきである
  - 3 農村に住む人が、農村以外の住む人の支援なしで、維持していくべきである
  - 4 これらの役割を維持する必要はない
  - 5 その他（ ）
  - 6 わからない

ご協力誠にありがとうございました。